

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	2	道路維持費

所管課	管理課
事業名	幸神駐車場維持管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	243	178		178			178	▲ 65
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	1	4	4			4	3
一般財源	242	174		174			174	▲ 68

事業概要	中浜緑地、幸神体育館利用者の駐車場敷地の維持管理を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	中浜緑地、幸神体育館等施設利用者のための駐車場敷地の樹木管理・除草等を行ない利用増進を図る。		
現状と背景	空港利用者の駐車場利用増進を図るとともに、駐車場敷地内の維持管理を実施する。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	2	道路維持費

所管課	管理課
事業名	道路維持費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	32,253	28,320		28,320			28,320	▲ 3,933
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	6,141	6,023		6,023		6,023	▲ 118
一般財源	26,112	22,297		22,297			22,297	▲ 3,815

事業概要	日常の道路パトロールを強化し、道路側溝や舗装等危険箇所の緊急修繕や道路清掃・除草の維持管理を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	生活関連道や水路の状態を常時監視しながら、危険箇所の補修等を行い、安全で円滑な交通の確保を図る。		
現状と背景	道路の老朽化による側溝や床板の破損、舗装の陥没など応急的な修繕を行っているが、箇所数は年々増加傾向にある。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	2	道路維持費

所管課	管理課
事業名	街路樹維持管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	8,993	8,535		8,535			8,535	▲ 458
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	8,993	8,535		8,535		8,535	▲ 458

事業概要	市道の街路樹の整姿及び整枝や薬剤散布等による病虫害駆除などの維持管理を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	街路樹の適正な維持管理を行い、潤いのある道路景観の確保を図る。		
現状と背景	剪定作業を適正な時期に実施する。沿線住民に対し落葉の理解を求める。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	2	道路維持費

所管課	管理課
事業名	中浜駅駐輪場管理事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	251	262		262			262	11
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	251	262		262			262

事業概要	中浜駅駐輪場施設や樹木剪定及びトイレの維持管理を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	中浜駅の駐輪場やトイレ・樹木の維持管理を行い、快適な施設利用と美観の確保を図る。		
現状と背景	平成5年、自転車の放置による交通支障の解消と、中浜駅利用者の利便性の向上を図るため駐輪場とトイレを整備した。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	2	道路維持費

所管課	管理課
事業名	市道維持修繕事業(自治会要望分)
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	6,000	5,400		5,400			5,400	▲ 600
財源内訳	国			3,000		▲ 3,000		
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	6,000	5,400		2,400		3,000	5,400	▲ 600

事業概要	毎年、自治会要望として提出される道路施設補修案件のうち、日常的維持修繕の規模を超えるもので、優先性を考慮し計画的に整備を実施する。	今年度見直し事項	管理課では、現在、自治会要望における維持修繕業務に関して客観的に審査する仕組みとして、全市道実態調査を実施しており、その結果を元にした市道状況検索データベースの構築を計画している。完成後には、道路維持修繕業務を日常修繕、緊急修繕、計画修繕の3つの柱に分類し、限られた財源の中で、持続的かつ安定的に道路施設の維持管理を
事業目的	限られた財源で、社会基盤機能を持続的に維持していくためには、優先性と費用対効果を考慮した計画的対応が求められる。そこで、本事業では、市道の維持修繕分野において、日常的な簡易的修繕業務と、ある程度の工事規模に及ぶ施設全体的な改築更新業務を区別し、財源制約のもと計画的に行うことを目的とする。		
現状と背景	市民にとって最も身近で重要とされる生活社会基盤施設である市道も年々老朽化の波が押し寄せており、その修繕箇所、費用ともに増加の一途を辿っている。このような物件に対し、現状は日常的維持修繕業務費用の枠の中で、優先性や緊急性を考慮し、混在する形で実施されているが、その費用比率は全体道路維持修繕業務の30%にも及び、本来の日常的維持修繕業務が毎年のように補正計上される実態となっている。		

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	2	道路維持費

所管課	管理課
事業名	地区分権型生活道路改修事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		14,000						
財源内訳	国	7,000						
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		7,000					

事業概要	<p>持続的社會基盤施設機能の維持保全に勤めていくため、生活道路の現状調査に基づく計画的に改修更新取り組んでいく必要がある。</p> <p>幹線市道を除く地区生活道路について、当該地区の住民が改修箇所を選択・決定し、それに基づき改修工事を行う事業である。</p> <p>対象地域は、市内7つに学校区、配分は7等分、各200万円である。</p>	今年度見直し事項	
事業目的	<p>住民生活に密接する社会基盤の持続的機能維持保全に向け、計画的に進めていく必要がある。そのためには、予算配分に関して用途、作業内容に応じて分類整理必要がある。加えて、社会地盤施設の多くは、その耐用年数を迎えようとしているものが多く、その維持修繕に関して一概に修繕費(経常経費)といい難い状況も増加している。</p>		
現状と背景	<p>道路網全体の老朽化による対象箇所数の増加の問題、自治会及び住民からの持ち込み要望が増大し地区間で不公平感も生じてきている。</p> <p>このため、市では、生活道路の事態をよりの確に把握するため、平成21年度に行った市道現況調査結果を元にした、中長期的市道修繕計画を現在作成中であり、この中では、調査結果を活用し、道路管理者として計画的に整備が必要な箇所(路線全体、部分補修)と日常的維持修繕作業にゆだねる状態監視保全箇所、早々に応急対応が必要と認められ箇所等に分類し、その優先性評価を行い、情報を地域に公開し、その上で、部分的な改築更新必要箇所、日常的修繕箇所に関しては、各地区住民(自治会等)の要望、意見と照らしあわせて上で計画性を持って対応する。</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	2	道路維持費

所管課	管理課
事業名	除雪事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,031	3,039		3,039			3,039	2,008
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	1,031	3,039		3,039			3,039

事業概要	市道の除雪に使用する機械を所有していないため、積雪時期に除雪可能な機械を借り上げ、当該機械の運転を委託するものである。	今年度見直し事項	
事業目的	積雪時期に除雪可能な機械を常備することにより、大雪による交通への支障を早期に解消することを目的とする。		
現状と背景	除雪可能な機械を所有している市内建設業者も少なく、平成22年12月末からの大雪の際、機械不足により除雪作業に遅れが生じた。	その他	